

コベルコが切り開く

現場からの報告(No.171)

永田プロダクツ

苦悩と挑戦の軌跡(前編)

「雰囲気作りが一番大事で、必要なのは、社員がプラス思考になり、同僚の欠点ではなく、いいところだけ見ること。私自身が怒らなくなった時に会社が良くなり始めた」(永田則男社長談) 二代目として同社に入社当時は創業者である父(永田行生氏)を含め社員はわずか4名。当時の操業環境は「1年がら年中泥だらけの油まみれ」(同)と自ら称したほど。ただ、今や同社は解体・部品販売のみならず、板金・整備・カーリース・カスタムカーなど商売の幅を広げつつ社会科見学などを積極的に実施し、地元で愛される企業として周知されている。中興の祖である永田社長のエピソードとともに同社発展の経緯を見る(前後編)。

■永田プロダクツ 山形県酒田市に本社を構え、解体・部品販売、保険、整備・板金など自動車関連業を主軸に多角経営をおこなう総合リサイクル企業。1967年に創業者の永田行生氏が(向永田商店として)未広町の自宅裏(20坪)で解体を手掛けたのが業の興り。77年に東町(旧本社)本社移転し、98年に現社名に改組。現社名に使用している『プロダクツ』は車と『業』・枠に囚われずに『新しいモノを創り出す』という想いを込めた(永田則男社長談)という。

■永田則男 98年より同社社長に就任。当時の業に対する感想は、「時代もあり最初は業を継ぐ気はなく、父(行生氏)にも『お前は就職しろ』と言われていた。ただ、畑違いのサラリーマン生活を送りながら、長男が業を継ぐという意識があったため、25歳(1986年)に入社した」という。■草創期の苦境 社長が入社後に着手し、苦勞し続けたことが「人材確保難と若年層の未定着」だ。当時のエピソードの一部を紹介すると、「職安(ハローワーク)で募集



現在の永田プロダクツ本社工場の外観写真(上)と社屋建て替え前の旧本社工場(下写真※永田プロダクツ45周年記念誌より)。



事業創草期

革新への第一歩

■冬季賞与後の社員退職 だが、業運営や人材確保は順風満帆ではなく、逆風下での挑戦だった。同社は1991年にN GPに加盟したが、当時の日本社は作業場の舗装がない露天解体。徐々に入庫数が増え始め、自り法施行に合わせて要件に合う工場作りを開始した。

■建替工事の予定前の95年12月―冬季賞与を社員に手渡した直後に、作業員3名が辞意を表明。当時の社員は社長を含め6名しかおらず、「来年に建屋を立てて改善されるから考え直してくれ」と留意を促したが、頑として聞かず、手の平を返された(同)という。

この経験から「会社は中身や給与も必要だが、社員に意識や愛社精神が根付くためには、『見た目も大事』であることを身をもって痛感した(同)」。■社屋完成の波及効果 翌96年に新社屋が完成したが良くも悪くも様々な影響を社に及ぼした。事業への好影響は就職希望者の急増だ。「外観しか変わらないが、若干名の募集に百人近く応募

が殺到した(同)という。一方、事業の悪影響は仕入れ先からの同社の成長に対する嫉妬だった。当時は、創業者である行生氏の教えから、社長自ら顧客の元に赴き集金していたが、自社平場の立替の原資を顧客への不当な買叩きによる利益創出と邪推され、「当時は、人に褒められたことなど一切なかった(同)という。(次号後編に続く)」。■他者の目という気付き 募集しても人が来ず、定着しないという苦悩を抱える社長が、原因に気付いたのは、社員が咳き

をせずにスミマセン。帰っていいですか」と帰った(同)という。

た日常のクチだという。ある時、社員が解体作業後、昼休憩に銀行ATMで金を下ろそうとする。銀行の行員が来て、「今、絨毯を張り替えたのに油だらけで歩くな」と社員が怒られ、へうの

音も出なかったという。この話を社員から聞いた時に、「我々から見た仕事と外から見た仕事は違う」と客観視の必要性を痛感。社屋建替を決意し1996年に新社屋を竣工した(当時35歳)。



永田プロダクツの本社工場で10年以上愛用されている有線電動式の自動車解体専用機。油やアドブルー等が不要で固定費が抑えられる上に、「消耗部の摩耗はあるが故障したことがない」(永田則男社長)という。



株式会社 永田プロダクツ

本社所在地 〒998-0075 山形県酒田市高砂字官林続10-11
 TEL: 0234-43-1272 FAX: 0234-43-1275
 HP: http://www.nagata-p.co.jp

創業 1967年10月1日
 代表取締役 永田 則男
 社員数 44名

主な支店

- 本社工場 本社住所と同じ
- 山形営業所 〒994-0049 山形県天童市南町2丁目8-3
TEL: 023-665-1800 FAX: 023-665-1801
- リボン・マジック・サーカス酒田 〒998-0875 山形県酒田市東町1丁目24-16
TEL: 0234-28-8431 FAX: 0234-28-8433
- リボン・マジック・サーカス山形 〒994-0049 山形県天童市南町2丁目8-3
TEL: 023-674-9975 FAX: 023-665-1801
- リボン・マジック・サーカス仙台 〒980-0822 宮城県仙台市青葉区立町21-17
TEL: 022-712-1383 FAX: 022-796-8368
- チェリーリンク 〒998-0875 山形県酒田市東町1丁目24-16
TEL: 0234-28-8431 FAX: 0234-28-8433

主な資格

- 産業収集運搬(積替保管倉)、産廃処分(中間処理)
- 自動車リサイクル法許可(解体、破砕)
- フロン類回収(第一種・第二種)、第二種特定製品引取業者登録